

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	17120	電話	042-769-8226
担当部課名	市民部	市民生課	課	
事務事業名	ふれあい広場整備費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第7章	個性豊かなコミュニティづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	市民主体のまちづくり	63以前年度
施策名	第2施策	コミュニティ活動の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市立ふれあい広場条例、同施行規則、同設置基準、同要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
広場は地域住民の軽スポーツ、レクリエーション、文化活動のコミュニティ活動を促進する多目的広場として設置し、もってふれあいのある明るいまちづくりを目指すものとする。	市民一般
	対象数 人口総数616,033人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
中央ふれあい広場(本格整備) 面積 1,386㎡ 総工費 26,880,000円	
宮上ふれあい広場(暫定整備) 面積 2,843㎡ 総工費 8,117,550円	
星が丘ふれあい広場(暫定整備) 面積 1,976㎡ 総工費 5,292,000円	
合計 面積 6,205㎡ 総工費 40,289,550円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	475	6,716	40,289	6,500	33,750
決算(予算)額	475	6,716	40,289	6,500	33,750
人員・時間数	1人・2日	1人・12日	1人・21日	1人・6日	1人・12日
人件費	62	375	674	186	387
その他経費	0	0	0	0	0
合計	537	7,091	40,963	6,686	34,137
特定財源	0	0	0	0	20,900
対象数	1	1	3	1	2
対象の単位あたり経費	537.0	7,091.0	13,654.3	6,686.0	17,068.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	地域住民のコミュニティ活動を促進する場として機能している。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 人口の急激な増加に対応したオープンスペースの確保はまだ十分といえず、多目的広場として、地域のコミュニティを推進していくことが必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	市民の多様なコミュニティ活動を促進するため、地域の活動拠点を整備し、充実を図る上で有効である。
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	地域の要望により設置しているため、地域的なバランスのとれた配置となっていないので一部効率性に欠けている。
(5)公平性 評価 B ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	整備状況が2箇所整備済み、1箇所整備済み、未整備と公民館区ごとに不均衡がある。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 1公民館区2箇所の設置基準を、各公民館区の地域実情に応じた基準に再検討する必要がある。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価 AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 公民館区2箇所を限度とする設置基準としてきたが、公民館区の人口、公園等広場の設置状況などいろいろな角度から比較対照すると一律2箇所の設置に矛盾が生じる。こうした中で、地域の状況を調査分析し、総合的に評価した設置基準をつくる必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

設置基準の見直しを進めること。
